

平成22年度学校経営計画

広島県立庄原特別支援学校

平成22年度学校経営計画

平成21年度～平成23年度

校番	113	学校名	庄原特別支援学校	校長氏名	刺田 信行	④・定・通	④・分
----	-----	-----	----------	------	-------	-------	-----

1 ミッション（地域社会における自校の使命）

県北地域における唯一の特別支援学校として、専門性に基づく教育機能を発揮し児童生徒の生きる力を育成するとともに、地域のセンター的役割を果たす。

2 ビジョン（使命の追求を通じて実現しようとする自校の将来像）

- ① 特別支援教育に関する専門性を確立し、授業の改善・充実により児童生徒の生きる力を育む。
- ② 相談や支援の態勢を整え、地域のセンター的機能を充実させる。
- ③ 信頼される学校を目指し、組織マネジメントを確立する。

3 環境分析

(1) 平成22年度児童生徒在籍者数および障害別区分

		小学部	中学部	高等部	計
在籍者数		9	7	38	54
療育手帳	㉠	4	2	2	8
	A	4	2	12	18
	㉡	1	2	8	11
	B	0	1	15	16
身体障害者手帳		4	3	7	14
手帳なし		0	0	1	1

(2) 児童生徒および地域の実態と教育課題

- ア 児童生徒数が年々増加傾向にあり、それに伴って障害も多様化している。個々の児童生徒の教育的ニーズを明確にし、個別の指導計画に基づいてT.Tが計画的・効果的に実施できるよう、単元計画、指導略案を充実することで授業改善を図る。
- イ 高等部において、軽度の生徒が増加傾向にあるため、作業学習、就業体験学習、職場実習などのキャリア教育の充実を図り、就労希望者の進路を実現する必要がある。
- ウ 教育相談主任の配置に伴い、センター的機能の充実を図り、特別支援教育の情報発信はもとより、県北地域の小・中・高における特別支援教育の情報を有機的に結びつけ、同一テーマによる授業研究を実施することで特別支援教育の発展を図る。

(3) 現状分析

- ア 特別支援教育に関する専門性を確立し、授業の改善・充実により児童生徒の生きる力を育む。
- (ア) 外部講師・内部講師による講演会等の実施。各学部でテーマに基づく授業研究を行う。(年間39回)
- (イ) 領域・教科を合わせた指導の改善を図る。(生活単元学習、作業学習の単元計画の作成)
- (ウ) 児童生徒の健康の保持に努め、健康教育や食育を充実させる。(年間6回)
- (エ) 生徒指導に係る方針を策定し、生徒指導の充実を図る。(携帯電話の安全使用に係る基本方針およびマニュアルの策定)
- (オ) 進路指導充実のため、関係機関との連携を強化する。(就労体験先開拓9件)
- イ 相談や支援の態勢を整え、地域のセンター的機能を充実させる。
- (ア) 教育相談や特別支援教育に関する情報の充実を図る。(教育相談件数64件)
- (イ) 小中高等学校を始めとする関係諸機関との連携を強化する。(小中高への支援件数98件)
- ウ 信頼される学校を目指し、組織マネジメントを確立する。
- (ア) ホームページを始めとして、学校情報の発信を定期的に行う。(月2回の更新)
- (イ) 保護者や学校関係者のニーズを反映した学校教育充実に向けてアンケートを実施する。(アンケートの回収率93.3%)
- (ウ) 災害等に対する避難計画の検討整備を図る。(地震避難訓練を行う等、年間6回の避難訓練を実施)
- (エ) 学校環境整備をすすめ、安心して学べる学校をつくる。(安全点検に基づく改善率85.5%)

4 目標の設定

学校経営目標						
達成目標	評価指標	実績値		目標値		担当部等
		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
1 特別支援教育に関する専門性を確立し、授業の改善・充実により児童生徒の生きる力を育む。						
教職員の専門性の向上を図る。	研修会の回数	18	39 (40)	40	40	教育企画部
専門性に基づく教育課程の編成	評価の実施	未実施	実施した (実施する)	評価の実施 70%	評価の実施 80%	教務部
児童生徒の健康の保持に努め、健康教育や食育を充実させる。	食育の授業	未実施	年間6回 (年間3回)	年間6回以上	年間6回以上	保健部
生徒指導に係る方針を策定し、生徒指導の充実を図る。	生徒指導方針の確立	未実施	方針、マニュアルの確立	生徒指導方針の確立	生徒指導方針の見直し	生徒指導部
進路指導充実のため、関係機関との連携を強化する。	就業体験先の開拓	就業体験先 年2件	9件 (体験先開拓 年3件以上)	体験先開拓 年5件以上	体験先開拓 年6件以上	地域支援部
2 相談や支援の態勢を整え、地域のセンター的機能を充実させる。						
教育相談や特別支援教育に関する情報の充実を図る。	教育相談回数	年46回	年64回 (年50回)	年55回	年60回	地域支援部
小中高等学校を始めとする関係諸機関との連携を強化する。	小中高等学校への支援回数	年間3件	年98件 (年間60件以上)	年間65件以上	年間70件以上	
3 信頼される学校を目指し、組織マネジメントを確立する。						
ホームページを始めとして、学校情報の発信を定期的に行う。	発信回数	毎月1回	毎月3回 (毎月3回)	毎月3回	毎月3回	教育企画部
保護者及び通学区域内小中学校へのアンケートを実施し、学校に対するニーズを把握する。	アンケート回収率	80.00%	93.3% (90%以上)	60%以上	70%以上	総務部
災害等に対する避難の検討整備を図る。(安全)	年間6回以上の訓練を行う。	5回	6回 (6回)	6回	6回	保健部
学校環境整備を進め、安心して学べる学校をつくる。	毎月1回の安全点検により、修理必要箇所を改善を図る。	達成	85.5% (83.0)	87.50%	90%	事務部

5 行動計画

学校経営目標			
達成目標	本年度行動計画	中期行動計画	担当部等
1 特別支援教育に関する専門性を確立し、授業の改善・充実により児童生徒の生きる力を育む。			
特別支援教育に関する教職員の専門性の向上のため、研究・研修活動を推進する。また、その成果を発表する場の一つとして公開授業研究会を実施する。	各学部でテーマに基づいた一人年1回の研究授業を行い、研究協議をとおして授業改善を推進する。	外部講師・内部講師による講演会等の実施。各学部でテーマに基づく授業研究を行う。	教育企画部
専門性に基づく教育課程を編成する。	「生活単元学習」「作業学習」の単元計画を作成し、その評価に基づき授業改善を行う。	領域・教科を合わせた指導の改善を図る。	教務部
日々の児童生徒の健康状態を把握し、健康管理を図る。	食育に係る年間計画を作成し、学部学年ごとに食育の授業を行う。	児童生徒の健康の保持に努め、健康教育や食育を充実させる。	保健部
生徒指導に係る方針を策定し、生徒指導の充実を図る。	安全指導や社会生活に必要なマナーを指導するための指導方針を作成する。自主的な活動を支援する方法を検討する。	児童生徒が社会生活に必要なマナーや自主的な力を育てるため生徒指導を充実させる。	生徒指導部
児童生徒の願いを実現させる進路指導を充実させる。	関係機関との連携を図り、就業体験先を開拓すると同時に、就業体験・職場実習を充実させる。	進路指導充実のため、関係機関との連携を強化する。	地域支援部
2 相談や支援の態勢を整え、地域のセンター的機能を充実させる。			
特別支援教育にかかわる指導や助言を行い、地域におけるセンター的役割を果たす。	地域支援センターの充実を図り、実態把握、相談支援、情報の収集整理、情報発信の場として機能させる。	教育相談や特別支援教育に関する情報の充実を図る。	地域支援部
	小中高等学校への支援を拡大させ、共同して特別支援教育の充実を図る。	小中高等学校を始めとする関係諸機関との連携を強化する。	地域支援部
3 信頼される学校を目指し、組織マネジメントを確立する。			
公開性の原則に基づき、学校の情報を積極的に提供し、説明責任を果たしていく。	ホームページを始めとして、学校情報の発信を定期的に行う。	学校教育活動等の公開を、組織的定期的にすすめる。	教育企画部
学校評価やアンケートにより教育課題を把握し改善に生かす。	保護者及び通学区域内小中学校へのアンケートを実施し、学校に対するニーズを把握する。	アンケートの実施により学校へのニーズを把握する。	総務部
災害等に対する避難の検討整備を図る。(安全)	年間6回以上の防災避難訓練等を行う。	危険時における対処要領を策定し、計画的に避難訓練等を行う。	保健部
学校環境整備を進め、安心して学べる学校をつくる。	安全点検や環境整備を定期的に行うとともに、学校施設や設備の長期的改善計画を策定する。	学校学習環境の検討・整備を行う。	事務部